



Nature News

撮影：2025年1月11日 網張の森

スノーシューを履いて森を歩いてみませんか？冬ならではの出会いや発見があるかもしれません。



ヤマウルシ（ウルシ科）の冬芽と葉痕

冬芽…落葉樹は晩秋に葉を落とし、休眠状態で冬を過ごします。春に再び芽吹き、活動を開始するために準備されたものです。中には葉や蕾が丁寧に折りたたまれています。

葉痕…葉が木の枝から落ちた痕です。葉は枝との間で、養分や水分をやりとりします。この養分や水分の通り道（維管束）も痕が残りに、葉痕の中にいくつかの点となっています。なんだか人や動物の顔のように見えませんか？



キハダ（ミカン科）の葉痕



イワガラミ（アジサイ科）のドライフラワー



サルノコシカケの仲間



レース模様のような地衣類

愛称

『シナのヴィーナス』



シナノキ（アオイ科）

愛称

『ダケ男爵』



ダケカンバ（カバノキ科）

動物の足跡に想像力を膨らませて…



雪上に自分の足跡をつけながら…